



# ほっとinみえ

2022年10月発行

第44号

三重県民生委員児童委員協議会

広報啓発委員会

事務局：三重県社会福祉協議会内

TEL：059-227-5145

FAX：059-227-6618

1. 三重県民生委員児童委員協議会 令和4年度事業計画
2. 第15回 三重県民生委員児童委員大会
3. 在宅福祉委員会 「3年間の活動を振り返って」  
児童福祉委員会 「3年間の活動を振り返って」  
広報啓発委員会 「3年間の活動を振り返って」  
主任児童委員会 「3年間の活動を振り返って」
4. 令和4年度 三重県単位民生委員児童委員協議会長研修会  
編集後記



# 三重県民生委員児童委員協議会 令和4年度事業計画

## 《基本方針》

新型コロナウイルス感染症により、私たちの暮らしは大きく変容しました。繰り返す感染拡大の波で様々な活動が制限される中であっても、各地での民生委員・児童委員活動は工夫しながら実施されています。生活に困りごとを抱える人が増えている今、地域住民の立場に立ち、福祉課題を発見して支援につないでいくという民生委員・児童委員の役割は、ますます重要性を増しています。

一方で、本年度は委員の一斉改選が実施されます。国では子ども家庭庁の創設に伴い、民生委員・児童委員活動を取り巻く環境が大きく変わる可能性もあります。どのような状況下であっても、重要な地域に根差した民生委員・児童委員活動を推進し、更なる発展をはかることを目指し、以下のことに取り組みます。

## 《重点事業》

- 1 新型コロナウイルス禍の中での民生委員・児童委員活動の充実
- 2 「地域版 活動強化方策」作成の促進
- 3 生活困窮者、子ども、高齢者、障がい者等の見守りの強化
- 4 地域共生社会の実現に向けた取り組み
- 5 地域の住民・関係諸団体への情報発信と連携強化

## 《事業計画》

- 1 会務の運営
- 2 第15回三重県民生委員児童委員大会の開催
- 3 研修事業の実施 ※各種研修会を実施
- 4 委員会・部会活動
  - (1) 企画研修委員会
  - (2) 在宅福祉委員会 ※研修DVDの作成を検討
  - (3) 児童福祉委員会 ※8月24日研修会を実施
  - (4) 広報啓発委員会 ※ほっとinみえの発行
  - (5) 主任児童委員会 ※9月6日研修会を実施（県社協主催）
- 5 民児協活動強化事業
- 6 顕彰・弔慰
- 7 関係諸団体との連携

## 第15回 三重県民生委員児童委員大会を開催しました

令和4年5月17日(火)、三重県総合文化センター大ホールで第15回三重県民生委員児童委員大会を開催しました。この大会は、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選の年に、民生委員・児童委員が結束を図り、今後の活動を共に考えることを目的としており、三重県内の約900名の民生委員・児童委員の皆様と関係者の方が一堂に集いました。



第1部式典では、10年以上の永きにわたり地域でご活躍をされてきた民生委員・児童委員259名の皆さんへの顕彰を行いました。

第2部式典では、佛教大学の長友先生を講師に迎え、県内の事例の紹介を行いました。亀山市民児連の小林会長からは、紙芝居の作成や活動映像の作成が紹介され、民生委員・児童委員活動を伝える工夫を紹介いただきました。津市 北郊地区民児協の阪野会長からは、地域見守り推進研修会や津市コミュニティバス乗車体験会が紹介された他、三重大学の学生と民生委員・児童委員と一緒に一人暮らし高齢者を訪問する活動(こちらは現在は休止中)が紹介されました。いずれも興味深く、各地での今後の活動の参考となる事例をご紹介いただきました。

### 日程

#### 《第1部 式典》

- ・開会のことば
- ・物故者慰霊黙祷
- ・民生委員・児童委員信条朗読
- ・開会挨拶
- ・顕彰
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介・祝電披露
- ・大会宣言



#### 《第2部 講演・事例紹介》

「コロナ禍における民生委員・児童委員活動について」

講師 佛教大学社会福祉学部

准教授 長友 薫輝 氏

事例発表 ・亀山市民生委員児童委員協議会連合会

・津市 北郊地区民生委員児童委員協議会

## 在宅福祉委員会「3年間の活動を振り返って」

「3年間の活動を振り返って」というテーマをいただいたが、端的に表現すると「活動報告に苦慮する3年間」であった。

民生委員・児童委員として、年齢や障がいの有無等にかかわらず地域の全ての人各自がそれぞれに役割を持ちながら社会参加し、生活上の課題に対し互いに支え合う「共生社会」の実現を目指す取り組みが全国で行われています。

そして、地域社会における行政などの公的な支援体制のもと、人と人・人とサービスをつなぐパイプ役としての民生委員・児童委員の役割と活動が改めて注目されるなか、民生委員・児童委員には地域を取り巻く状況や制度についての知識を理解し身に付くよう学び続けることが求められています。

そこで、地域の在宅福祉にかかわる制度や各地で実施されている取り組み事例などについて学び、地域共生社会の実現に向けて民生委員・児童委員に求められる役割について考えることを目的として研修会開催の準備を整えました。

1年目、未知の新型コロナウイルス禍、それでも研修会開催を模索し在宅福祉委員会を重ね、当年度の研修会テーマ・日にち・講師を決め準備は整えたものの中止に至りました。

2年目、コロナ禍は前年より状況が悪化し早々と本年度の研修会中止の決定を余儀なくされました。委員会の開催もままならないなか、研修会開催が叶わないのであれば、各単位民児協での勉強会などで活用可能なDVDを制作しようとの提案があり、新たな方向に向け全員で取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大の影響で講義撮影も延期となり、完成品配布は年明けとなりましたが、当初の目的は達成しました。

3年目、相変わらずのコロナ禍、本年も県総合文化センターでの研修会は中止。DVD制作を決定するも11月の今任期中には完成出来そうにありません。

顧みれば、新型コロナウイルスの世界的流行に始まり、コロナ禍で試行し行動した3年間でしたが、ポストコロナを見据え民生委員・児童委員の今後の活動を考えるうえで貴重な時間だったのかも知れません。

三重県民生委員児童委員協議会  
在宅福祉委員会  
委員長 野呂 隆一

### 在宅福祉委員会メンバー【令和4年10月現在】

役職	市町名	氏名
常任理事	伊賀市	松井 謙二
委員長	津市	野呂 隆一
副委員長	津市	海野 スイ
副委員長	松阪市	川合 幹雄
委員	いなべ市	川添 博
委員	朝日町	中村 司
委員	亀山市	小林 智子

役職	市町名	氏名
委員	松阪市	小林 正則
委員	伊勢市	加藤 正彦
委員	大紀町	西 多美
委員	名張市	狩野 明義
委員	紀北町	西村 俊二
委員	御浜町	山田 裕一

## 児童福祉委員会「3年間の活動を振り返って」

令和2年4月、児童福祉委員会では、向こう3年間の活動目標を、『児童委員として、子どもの関わりを考える』のテーマをきっかけ、スタートしました。同時に新型コロナウイルス感染が拡大しつづけ、委員会も中止となることがありました。そんな中、開催できる時には、委員の皆さんからは活発で建設的な意見をたくさん頂きました。

児童委員として

○学校とのかかわりについて？

○コロナ禍で学校の子どもたちの様子は？

○リモートでの仕事が増え父親が在宅となり、家庭内のトラブルが多くなり、子どもに与える影響は？

などいろいろと課題がでてきました。そこで委員会において勉強会を行いました。

令和2年10月30日「地域と共にある学校、コミュニティスクール」

杉谷 直俊 様（鈴鹿市教育委員会）

令和3年1月19日「県内の子どもを取り巻く環境、課題について」

森本 良一 様（三重県児童相談センター）

両氏のお話しは大変勉強になりました。

是非、児童委員の皆様にも共有していただきたいと、両氏を講師として、令和4年8月24日(水)児童福祉委員会研修会を三重総合文化センターで開催しました。きっとこれからの活動の参考になったのではないかと思います。



今後も未来の宝である子ども達が、のびのびと歩んで行けるように地域の子育て応援団として頑張っていきたいと思います。

三重県民生委員児童委員協議会

児童福祉委員会

委員長 橋本 貴子

### 児童福祉委員会メンバー【令和4年10月現在】

役職	市町名	氏名
常任理事(副会長)	鈴鹿市	岸 俊子
委員長	桑名市	橋本 貴子
副委員長	鈴鹿市	福井 雅子
副委員長	松阪市	濱田 迪夫
委員	四日市市	西岡 正行
委員	津市	渡邊 宏一
委員	津市	今井 啓子

役職	市町名	氏名
委員	松阪市	西川 賢子
委員	伊勢市	青木 昭一
委員	鳥羽市	岡田 朱美
委員	伊賀市	和田 文子
委員	名張市	森 志津
委員	熊野市	舛屋 洋子
委員	紀宝町	濱口 啓



## 広報啓発委員会「3年間の活動を振り返って」

令和元年12月の一斉改選により、新しいメンバーでの広報啓発委員会がスタートいたしました。しかし、年が明けた途端に新型コロナウイルス感染症が出現したため「緊急事態宣言」が発出され、マスク着用・手指消毒・会議等の自粛により広報啓発委員会の開催も叶いませんでした。そんな中でも県民児協事務局のご協力をいただき、何とか皆さまの参考になる情報を、との思いで委員一同取り組んできました。

- ・三重県民生委員児童委員協議会の各委員会の紹介
- ・三重県内民生委員・児童委員定数及び実数と配置基準
- ・活動相談事例
- ・見守り活動の参考に ～会話と傾聴のコツ～
- ・コロナ禍対策 等々

上記のような記事を掲載してきましたが、少しでもお役に立てましたら幸いです。

今期は改選があります。一期でも長く続けていただきますように願って、次期広報啓発委員の皆さまにバトンをつなぎたいと思います。

笑顔の輪を咲かせましょう  
3年間 ありがとうございました

三重県民生委員児童委員協議会  
広報啓発委員会  
委員長 遠藤 悦子

### 広報啓発委員会メンバー【令和4年10月現在】

役 職	市町名	氏 名
常任理事	東員町	中山 章司
委員長	津市	遠藤 悦子
副委員長	名張市	池田 允彦
委員	桑名市	本田 和夫
委員	四日市市	市川 久
委員	鈴鹿市	鈴木 良一
委員	津市	三井 増雄

役 職	市町名	氏 名
委員	松阪市	沼田 芳久
委員	多気町	新谷 雅子
委員	伊勢市	白神 慶助
委員	志摩市	大杉 正也
委員	尾鷲市	松井 良夫
委員	熊野市	西塚 紀生

## 主任児童委員会「3年間の活動を振り返って」

三重県民生委員児童委員主任児童委員会の唯一の企画、研修会を計画してきたが初年度に引き続き次年度も見送り、今年度何とか実施にこぎ着けました。9月6日に三重県文化会館に於いて「未来の子どもたちの命を守るCDR」についての理解を深め、委員として何が出来るか考えることを目的として研修会を開催しました。普段から比べると午前中だけの短時間ではありましたが、県内の主任児童委員が一同に会し、共に学ぶことが出来ました。主任児童委員会役員一同も研修会がやっと実施出来ほっとしたのが実感でした。

これまでの研修会はメインに講義(基調講演)引き続き分科会が設定されていました。講演の内容を受けての意見交換、そして情報の交換です。北から南まで地域の特色も様々であることから分科会のメンバーを各ブロックに分散しグループ分けをしました。地域により、活動の仕方や取り組みの方法も様々であることから、意見交換によりお互いの参考になったり学ぶことも多く、大いに刺激を受ける場となっていました。それは、それぞれがおかれた地域で汗して頑張っているんだなと互いに励まされる絶好の機会でもありました。しかし今期は3年度とも分科会は開催することが出来ず非常に残念なことでした。とくに今期初めて主任児童委員に就任された方にとっては、何をするのか参考になり、方向性も理解出来る絶好の場所になるはずでした。地域によって取り組みの違いを知ったり、場面場面でどういう対応をしていったら良いか等、有用な場となるはずでしたが。来年度はどうか分科会の交流が出来れば良いのですが。

感染症による社会の停滞により私たち主任児童委員の活動も止まらざるを得ない状況でありました。しかし工夫をしながらそれぞれの地域で活動がなされてきたと思います。

この間も子どもに関する施策は変化しています。18歳に引き下げられた成人年齢についても、2年間引き下げられた意味は大きいものがあります。

また子どもに関する悲しい事件、事故も多々ありました。その原因そして抑止をするために我々が出来る事を考える時間があったにも拘わらず、つぎつぎ通りすぎていった感があります。情けないことです。出来ることがもっとあったのではと思います。

「会って話をしよう 話を聴こう そして困っていることをつなげていこう」と思っても何か中々出来ない、なにか飢(かつ)えた3年間でした。でも朝が来ない夜はない。それを信じて活動を続けていきましょう。

最後に「今期で主任児童委員活動を終わられる方、御協力を頂き誠にありがとうございました。そして継続をされます方々、一緒に頑張っていきましょう。」

三重県民生委員児童委員協議会  
主任児童委員会  
委員長 堤 康 雄

### 主任児童委員会メンバー【令和4年10月現在】

役 職	市町名	氏 名
常任理事	尾 鷲 市	世 古 清 人
委員長	松 阪 市	堤 康 雄
副委員長	四 日 市 市	稲 垣 芳 則
副委員長	伊 賀 市	坂 本 里 子
委 員	桑 名 市	渡 部 美 紀 子
委 員	鈴 鹿 市	林 和 枝
委 員	津 市	大 野 由 佳

役 職	市町名	氏 名
委 員	津 市	木 谷 茂
委 員	多 気 町	小 山 ますみ
委 員	伊 勢 市	水 谷 典 子
委 員	南 伊 勢 町	中 村 早 苗
委 員	名 張 市	山 崎 律 子
委 員	尾 鷲 市	田 中 千 代
委 員	紀 宝 町	檜 山 恵 美

## 令和4年度 三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会を開催しました

令和4年7月11日～12日に賢島宝生苑（志摩市）において、令和4年度三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修会を開催しました。単位民生委員児童委員協議会のリーダーとしての役割やマネジメントの手法等を学び、これからの民生委員・児童委員活動の充実及び単位民生委員児童委員協議会の機能強化につなげることを目的としました。

令和元年度以降、3年ぶりの開催で、開催直前から新型コロナウイルスの感染が増えつつある中でしたが、感染症対策を行い、参加者もしっかりとご協力いただいたおかげで、研修会を無事に終えることができました。

### <研修実施内容>

- 「民児協リーダーに求められる知識と実践」  
講師：株式会社エイデル研究所 人材育成支援部  
研修主任 増田 直哉 氏
- 情勢報告  
講師：全国社会福祉協議会 民生部  
部長 熊坂 淳 氏
- 行政報告「ひきこもり支援の推進について」  
講師：三重県子ども・福祉部  
地域共生社会推進監 中出 真人 氏



※ 7月12日は代議員会も実施しました。

## 編 集 後 記

長期に渡るコロナ禍は私たちの活動にも大きな影をおとす災禍になりました。

振り返れば令和元年に広報啓発委員会メンバーに選出され、全員で今後の予定を確認した途端に非常事態宣言がでて、今に至るまで満足できる活動の取り組みが出来ませんでした。

計画した行事報告は大半が中止や延期となり記事の構成・編集の打合せにも苦慮した中で広報誌としての役割が十分に果たせなかった事をお詫びするとともに、委員会メンバーとしても残念な3年間を反省しております。次期、広報啓発委員会では円滑な運営と理想の広報誌の発行を目指して活躍されることを願っています。

広報啓発委員会一同